

地方創生の最大の鍵は

インバウンド対策!?

第1回 地方創生 EXPO

会期: 2018年2月21日[水]~2月23日[金] 10:00~18:00 (最終日のみ17:00終了)

主催: リード エグジビション ジャパン(株) 会場: 幕張メッセ

リード エグジビション ジャパン(株)は2月21日(水)から23日(金)までの3日間、幕張メッセにて「地方創生EXPO」を開催。第2次安倍政権発足以降、政府は「地方創生」を推進。少子高齢化、人口減少の日本にとって地方創生の鍵は『インバウンド』と言われている。2017年の訪日外国人旅行者数が過去最高の2,869万人(観光統計より)となったが、2020年には訪日外国人旅行者を4,000万人にすると掲げており、今後も外国人観光客が増えることが予想される。そんな中、自治体では多言語対応、外国人向けイベント、オリジナルグッズ作成、Wifi環境の整備、など『インバウンド対策』が求められている。本展にはこの需要に応える製品・サービスが多数出品。訪日外国人向けのアイデア豊かな出展商品・サービスをほんの一部ご紹介いたします!ぜひご取材ください!

※本展示会の取材には、事前の取材申込が必須となります。申込みフォームよりお手続きください。

地方創生にもAIを!

Deaps

地域の観光発信や町歩き企画に合わせて、AI観光プラットフォームアプリ Deapと連携し、地域がおすすめしたい観光情報の発信や、ユーザーが面白いと感じた地域の魅力の共有ができます。また、ARや音声ガイドなど、その地域でしかできない企画を作る上で必要なデジタル技術を使った企画を展開。企画によって収集された情報はAIが分析し、次回以降の継続的なまちづくりにも役立てられます。

(Deaps Technologies 株式会社)



誰だって巨人になれる!?

スケルトニクス

ロボット大国日本にくる外国人はロボットを一目みたいはず。

外骨格型ロボットであるスケルトニクスを装着すると、まるで巨人になったかのような感覚が味わえます。ロボットといっても電気を使っているわけではなく、三次元の閉リンク構造によるメカニカルな仕組みを採用することで自由度の高い身体動作が可能なのもうれしいところ。実物を見れば、その動きのリアリティに驚きます。装着者の手足の動きがダイレクトに反映され、巨大な体にもかかわらず機敏に動くその様子をブースにて体験できます。

(スケルトニクス 株式会社)

※出展社数、来場者数、国数、および製品数は、2017年10月18日時点での共同出展社を含めた最終見込み数字であり、開催時には増減の可能性があります。
※同種展示会との出展者数および製品展示面積の比較。※同時開催展の製品含む。
※出展商品は変更になる可能性があります。※写真は一部、出展社ホームページよりお借りしています。

取材のお申込みはこちら <http://www.sousei-expo.jp/shuzai/>

「ペン」があなたを音声でガイド！

観光向け多言語音声ガイドペン

「見どころ・食べどころ」など地域の魅力をわかりやすくお伝えするのに有効なツール。電源を入れて聞きたいガイドを選択するだけの直感的な簡単操作&多言語対応なので、お子様や外国人でも操作が簡単。

訪日観光客の受け入れ態勢の一つとして、また多く訪れる日本人観光客にも利用でき、「寺社仏閣、美術館やテーマパーク等、屋内外を問わずに様々な所で活用でき、一台の機器で複数の言語の選択、再生が可能です。

(株式会社 Mビジュアル)



外国人ウケ間違いなし！ 忍者合戦

忍者合戦-SINOBI-

「忍者になりきり、障害物に隠れながら、相手の頭領を倒す」場所や人数の枠にとらわれずに楽しめる日本初の実際に戦う忍者アクティビティ。ポイントは『オリジナル装備で忍者に変装』『どこでも誰でも何人でも楽しめる！』ところです。性別、世代、国籍の壁を乗り越え「本気で」「一緒に」楽しめます。

(株式会社 TearsSwitch)

取材のお申込みは 下記URLから または 取材申込書をFAXしてください

<http://www.sousei-expo.jp/shuzai/>

※本展の取材は事前登録が必要です。

※取材のお申込みは、「報道」「記事掲載」などの取材を目的とした方のみご登録いただいております。

※事前のご登録が無い場合や、またご登録いただいても取材目的ではないご来場の場合、

また報道活動が認められないと主催者が判断した場合(個人ブログ・SNS等、極めて限定的な発信を含む)は当日プレス受付をお断りする可能性がございます。あらかじめご了承ください。

■取材申込書 返信先 >> FAX 03-3344-2400

貴社名:	媒体名:
所属・役職:	お名前:
E-mail:	
TEL:	FAX:

※今後このようなFAXが不要の方はお手数ですが、下の□にチェックをし、そのままFAX:03-3344-2400宛にご返信ください。

□今後のFAX配信を停止してください。 □今後E-mailでの配信にしてください。(E-mail:)